

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月28日			記入者	内線 2687
部 名	保健福祉部	課 名	障害福祉課	課長名	篠崎 正義
事務事業名	更生医療給付事業				
予算上の事務事業名	更生医療給付				
1 総合計画における位置づけ	施策コード			11310	
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります				
基本施策名	第3節 障害者の自立支援と社会参加				事業開始年度
施 策 名	第1施策 自立した生活を実現するための環境づくり				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	身体障害者福祉法、更生医療運営要領、市補装具等自己負担金補給要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名	相模原市障害者福祉計画			障害者を主体とした施策を総合的に推進し、各種サービスを体系的に提供する。実施計画（前期10～14、中期15～18、後期19～22） 保健医療サービス	
計画年次	10	年度～	22	年度	
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付) ▼				
5 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果) (2) 対象(誰、何)				
身体障害者に対して、その日常生活能力、職業能力の回復、もしくは更生させることを目的に、その更生のために必要な医療の給付、又は医療に要する費用を支給する			市内在住の身体障害者で、かつ更生相談所にて更生医療が必要という判定を受けた者		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
支給延べ件数(見込) 734件 支給対象者数(見込) 140件 平成16年度決算額内訳 給付費 31,777,000円 審査事務手数料 116,000円					
6 関連・類似事業や他市の状況	国の要綱で定められた基準に基づき事業を実施しているが、障害者の経済負担を緩和するため自己負担分が生ずる者については助成している。				
7 事業費の推移	[単位：千円]				
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	25,322	31,562	31,777	35,219	36,628
一般財源	12,759	17,362	17,005	17,610	18,314
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	12,563	14,200	14,888	17,609	18,314
人件費の合計	8,390	8,010	8,070	8,070	8,070
事業コスト合計(a)	33,712	39,572	39,847	43,289	44,698
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	更生医療給付			対象名称(単位)	給付人数(人)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	33,712	39,572	39,847	43,289	44,698
対象数	657	721	734	733	762
単位あたり経費(円)	51,312	54,885	54,287	59,057	58,659
前年度比		1.07	0.99	1.09	0.99

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	更生医療給付人数		指標式と指標の説明	申請延人数 / 給付延人数 × 100	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	657.0	721.0	734.0		
目標	657.0	721.0	734.0	733.0	762.0
目標達成度	1.00	1.00	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	更生医療決定者の給付率		指標式と指標の説明	給付決定者 / 医療給付者 × 100	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	100.0	100.0	100.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[	]：良好な状態を維持する事業			
	[	]：概ね良好な状況である事業			
	[	]：見直しを行う必要がある事業			
	[	]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		障害者自立支援法により17年10月から育成医療・更生医療・精神通院公費の扱いが自立支援医療に変わるため、改正内容に対応した見直しが必要になる。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
			自立支援医療では、自己負担については原則1割負担となるため、部内で組織した「福祉サービス給付事業検討会議」による見直しの方向性等の結果を踏まえ、利用者負担について見直しの検討を行う。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			